

おじゃましました♪ 会員訪問

vol.042 湘南のチョコレート工房「大一製菓」さん

笑顔になる味をこれからも！茅ヶ崎生まれのチョコレート♡

茅ヶ崎市に本社と工場をもつチョコレート製造会社「大一製菓」の創業は1958年。創業者である一杉和一（ひとすぎ わいち）さんが、戦後のお菓子ブームに着目し、東京・東中野でスタートしました。

「当初はウイスキーボンボンやマシュマロを作っていましたが、しばらくしてチョコレートの製造に取り組みました」。そう話すのは、3代目の一杉直樹代表。工場が自宅敷地内にあり、「子どもの頃からチョコレートの製造を見て育ったので、“お前が継ぐんだぞ”という父（2代目）の言葉も抵抗なく、すんなり受け入れました（笑）」

新工場建設のため、茅ヶ崎に移転したのは1972年。全国展開する大一製菓の商品は、ここ茅ヶ崎から出荷され、スーパーやドラッグストア、ディスカウントストアで、PB（プライベート）商品として並んでいます。なかでもチョコレートとピーナッツを組み合わせた「ピーチョコ®」は、発売以来、長く愛され続けてきた看板商品です。「個包装ピーチョコ」の発売や、カカオ分や糖質にこだわった健康志向の商品を充実させるなど、常にお客様のニーズを取り入れながら、企画研究・開発に力を注いでいます。

今後について伺うと、「これまでと変わらず、お客様に“おいしい”と喜んでいただける商品を提供し続けていくためにも、まずは会社を存続させること」と一杉代表。「昨今の原材料費の値上げで、厳しい状況ではありますが、価格以上の価値を感じて頂けるよう頑張ります。今後は、地元根差した愛される企業として、地域に密着した商品を開発してまいります」。新ブランド「湘南チョコ工房」の立ち上げで、さらに邁進する大一製菓。どんな商品が生まれるのか、今後の活動に期待が高まります。



▲チョコレートとピーナッツを組み合わせた「ピーチョコ®」



▲1961年に誕生した「ピーチョコ®」。(1971年商標登録済み)



大一のチョコレート

▲ピーナッツを模した以前のマスコット「ピー坊」。

「おいしい!!」は
幸せの原点。
お客様に喜ばれる
チョコレートを提供
してまいります!!



▲「くちどけショコラ」や「ひとくちチョコレート」など魅力的な商品がいろいろ！



▲2010年3代目代表に就任した一杉直樹代表。「食べるのが大好きなので、飲食店に詳しい仲間と外食したり、自分でも作ったりして料理を楽しんでいます」



▲お父様の克彦氏が撮影した家族写真。創業者の和一氏と妹さん。



◀検査から配送まで、製造工程は徹底した品質管理のもとで。



◀湘南の海や烏帽子岩をイメージして作成された「湘南チョコ工房®」のロゴ。

株式会社 大一製菓

茅ヶ崎市南湖 1-10-13

<http://www.daiichi-seika.co.jp>

《関西事務所》

大阪府大阪市中央区南本町 2-4-6

インターワンプレイス本町 5階